



考えよう！

『法曹人口・法曹養成問題』



主催者 これからの司法と法曹のあり方を考える弁護士の会
シンポ連絡先 国府泰道（大阪弁護士会 35期）

TEL06-6365-9182 FAX06-6365-7293

開催日時：2014年10月11日（土）13時00分～16時00分
場所：大阪弁護士会館10階

1 基調報告

- ① 「弁護士人口の現状（弁護士人口、事件数、所得の推移）」（報告者：白浜徹朗弁護士）
- ② 「法曹養成制度の現状と法曹養成制度改革推進会議における議論の状況」（報告者：正木みどり弁護士）

2 パネルディスカッション

- 川村遼平氏（NPO法人POSSE事務局長、「若者を殺し続けるブラック企業の構造」の著者）
POSSE（ポッセ）は労働相談を中心に活動する若者主体のNPO法人です。
- 白浜徹朗弁護士（2013年度日弁連司法修習委員会副委員長，京都弁護士会）
- 増田 尚弁護士（元大阪弁護士会法曹人口問題PT委員，大阪弁護士会）
- 久野由詠弁護士（新65期、法科大学院修了者，愛知県弁護士会）
- コーディネーター森山文昭弁護士（愛知大学法科大学院教授，愛知県弁護士会）

【討論事項の柱】

- ① 弁護士人口と事件数推移をどう見るか
- ② 法曹志願者数の激減や法学部志望者の大幅減少をどう見るか
- ③ 司法修習の現状について・給費制問題の現状
- ④ 法科大学院制度について
- ⑤ 予備試験の受験資格制限論について

あなたは知っていますか？ こんなデータを

- 弁護士1人当たり事件数は、この10年で3割減少！（全国平均。司法統計）
- 「弁護士が普及すれば、支部や過疎地の事件も増える。」と言われていました。しかし、支部に弁護士は倍増したが、それでも事件数は横ばいなのが現実！（同）
- 弁護士の所得も大幅に減少。70万円以下の弁護士が5000人超。
- 弁護士の3割が、所得300万円以下！（国税庁データ）

シンポでは、こんな驚くべきデータを次々と報告します。